

平成25年3月期 第2四半期決算説明会

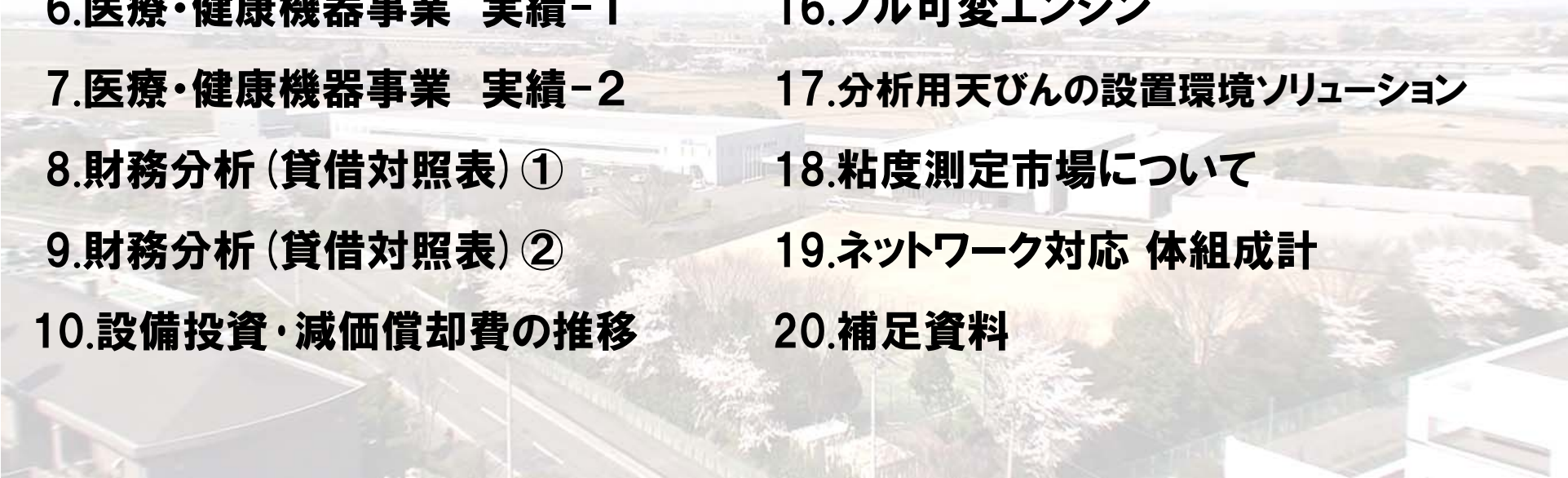
平成24年11月13日



ご注意

本資料に含まれる予想に関する記載は、現時点における情報に基づき判断したものであり、今後、日本及び世界の経済動向、新たな技術開発の進展により変動することがあります。従って、当社としては、その正確性を保証するものではありません。

Contents

- 
- | | |
|------------------|-----------------------|
| 1.第2四半期(累計)業績の総括 | 11.25年3月期通期見通し |
| 2.第2四半期(累計)の概況 | 12.計測・計量機器事業 見通し-1 |
| 3.計測・計量機器事業 実績-1 | 13.計測・計量機器事業 見通し-2 |
| 4.計測・計量機器事業 実績-2 | 14.医療・健康機器事業 見通し-1 |
| 5.DSP事業の業績 | 15.医療・健康機器事業 見通し-2 |
| 6.医療・健康機器事業 実績-1 | 16.フル可変エンジン |
| 7.医療・健康機器事業 実績-2 | 17.分析用天びんの設置環境ソリューション |
| 8.財務分析(貸借対照表)① | 18.粘度測定市場について |
| 9.財務分析(貸借対照表)② | 19.ネットワーク対応 体組成計 |
| 10.設備投資・減価償却費の推移 | 20.補足資料 |

第2四半期(累計)業績の総括

ハイライト

売上

- ・ D S P 事業は自動車関連を中心に大型案件が回復、前年比で大きく売上が伸長。
- ・ 国内は1Qは震災関連の復興需要を背景に売上が伸長するも2Qにはやや鈍化。
- ・ 海外は円高の長期化により、現地通貨ベースでは伸長したが、円換算で伸び悩み。

損益

- ・ 売上増の結果、営業利益は黒字化。
- ・ 為替差損等により経常利益・当期純利益は赤字。

第2四半期(累計)の概況

(単位：百万円)

連結損益	24/3期 2 Q累計	25/3期 2 Q累計	前期比 増加率	2 Q 累計予想	予想比	コメント
売上高	13,905	15,162	9.0%	15,400	-1.5%	D S P 伸長
売上原価	7,387	8,158	10.4%	8,140	0.2%	
販売費及び 一般管理費	6,577	6,860	4.3%	7,040	-2.6%	
営業利益	-59	144	—	220	—	
経常利益	-379	-154	—	40	—	為替差損112百万円
税引き前 利益	-401	-89	—	38	—	
当期 純利益	-491	-167	—	0	—	
1株当たり 利益(円)	-24.35	-8.26	—	0.00	—	

(注) 1. 25年3月期予想は、5月11日付の「平成24年3月期決算短信」にて発表した予想であります(以下同じ)。

2. 小数点以下(百万円未満)は四捨五入で表記しています(以下同じ)。

計測・計量機器事業 実績－1



(単位：百万円)

セグメント		24/3期 2 Q累計	25/3期 (実績)	前 年 同期比	2 Q 累計予想	予 想 比
計測・計量 機器事業	売 上	8,154	9,099	11.6%	9,260	-1.7%
	売 上 原 価	4,526	5,122	13.2%	5,180	-1.1%
	販 管 費	3,635	3,726	2.5%	3,840	-3.0%
	営 業 利 益	-7	252	—	240	5.0%

1. 全体的に堅調に推移する中、DSPが躍進。

⇒売上は前期比11.6%増

2. 売上増加及び販管費抑制継続の結果、営業利益が改善。

⇒営業利益が前期比で259百万円の改善

計測・計量機器事業 実績－2



(単位：百万円)

製 品 種 別	24/3期 2 Q 累計	25/3期 2 Q 累計	前 年 同期比	2 Q 累計予想	予想比
計 測 機 器	1,598	1,669	4.4%	1,490	12.0%
計 量 機 器	5,283	5,434	2.9%	5,590	-2.8%
計測・制御・シミュレーションシステム (DSP)	1,048	1,672	59.5%	1,860	-10.1%
電子ビーム関連ユニット	226	324	43.4%	320	1.3%
売 上 合 計	8,154	9,099	11.6%	9,260	-1.7%

- 計測機器 : 子会社のサム電子・ベスト測器の業績が回復。
- 計量機器 : 堅調に推移している中、市場別はかりが好調。
- D S P : 目標未達ではあるが、自動車関連を中心に大きく伸長。
- 電子ビーム関連ユニット : 半導体向け設備投資は停滞気味だが、半導体微細化関連は徐々に増加。

DSP事業の業績

(単位：百万円)

	用 途 種 別	23/3期 (実績)		24/3期 (実績)		25/3期 (実績)
		上期	下期	上期	下期	上期
新 規 事 業	自 動 車 関 連	1,461	1,272	872	2,011	1,443
	試 験 機 関 連	41	45	45	46	38
	そ の 他	117	389	131	255	191
	小 計	1,619	1,706	1,048	2,313	1,672
既 存 事 業 へ の D S P 技 術 応 用	特殊試験機関連	39	265	97	191	26
	計量制御関連	53	59	38	58	92
	医 療 機 器				3	13
	小 計	93	324	134	251	131
合 計		1,712	2,030	1,182	2,563	1,803
売 上 合 計 (通 期)		3,742		3,745		1,803

自動車関連の設備投資回復に伴い、タイヤ転がり抵抗試験機をはじめ、各種試験装置を中心に売上が伸長。

医療・健康機器事業 実績－1



(単位：百万円)

セグメント		24/3期 2Q累計	25/3期 2Q累計	前 年 同期比	2 Q 累計予想	予 想 比
医療・健康 機器事業	売 上	5,751	6,062	5.4%	6,140	-1.3%
	売 上 原 価	2,891	3,051	5.5%	2,960	3.1%
	販 管 費	2,350	2,449	4.2%	2,590	-5.4%
	営 業 利 益	510	561	10.0%	590	-4.9%

1. 医療機器・健康機器ともに売上が伸長。

⇒売上高は前期比5.4%増加

2. 売上増加の結果、営業利益が増加。

⇒営業利益は前期比10.0%増加

医療・健康機器事業 実績－2



(単位：百万円)

製 品 種 別	24/3期 2Q累計	25/3期 2Q累計	前期比	2 Q 累計予想	予想比
医 療 機 器	1,074	1,216	13.2%	1,200	1.3%
健 康 機 器	4,676	4,847	3.7%	4,940	-1.9%
売 上 合 計	5,751	6,062	5.4%	6,140	-1.3%

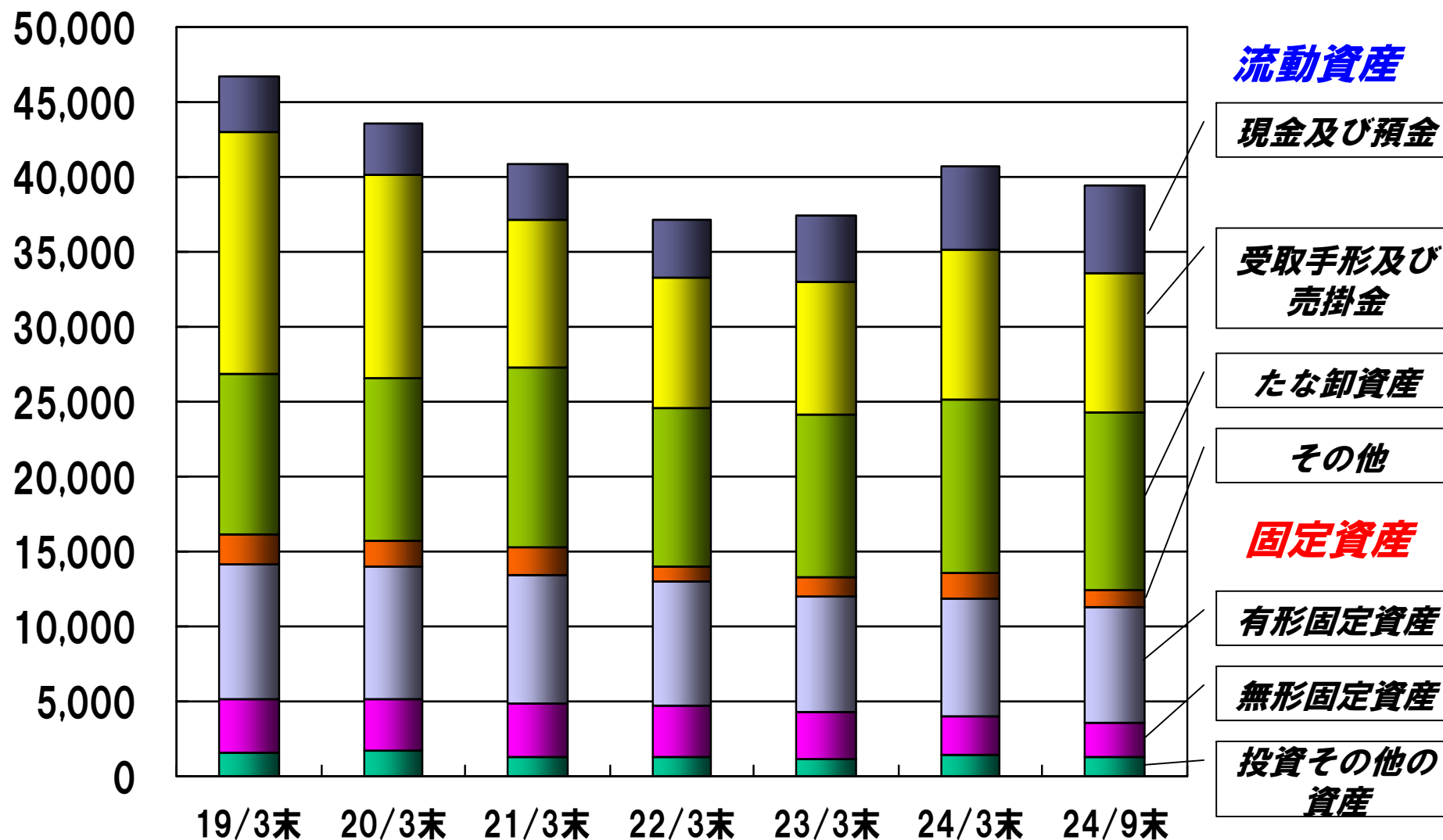
医療機器：好調が続くメディカル計量器とあわせた販売促進の結果、
携帯型血圧計やベッドサイドモニターの売上も増加。

健康機器：国内は血圧計・ネブライザーを中心に好調。海外はロシアで
ネブライザーが大きく伸長。

財務分析（貸借対照表）

■ 貸借対照表分析 資産の部

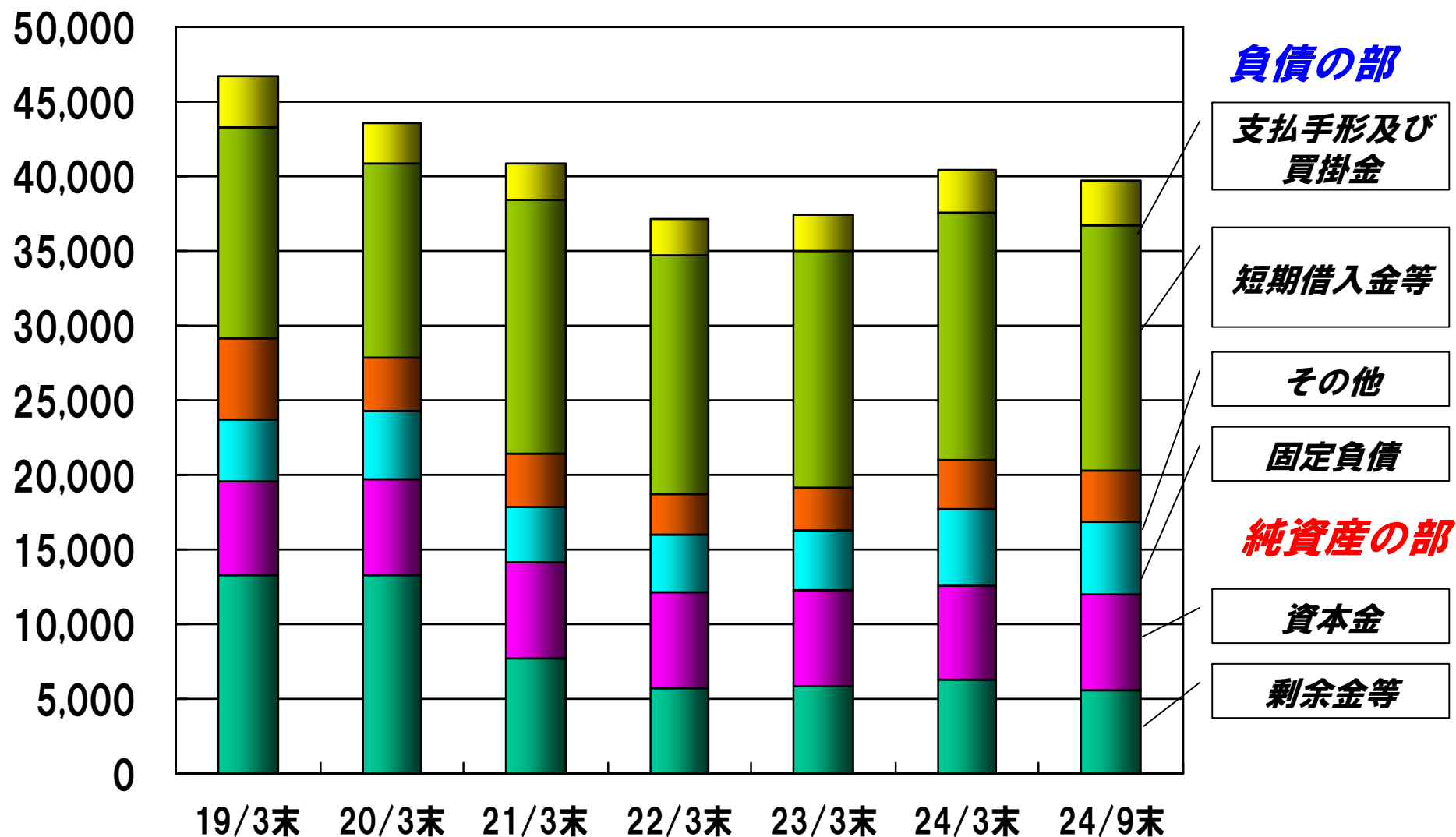
（単位：百万円）



財務分析（貸借対照表）

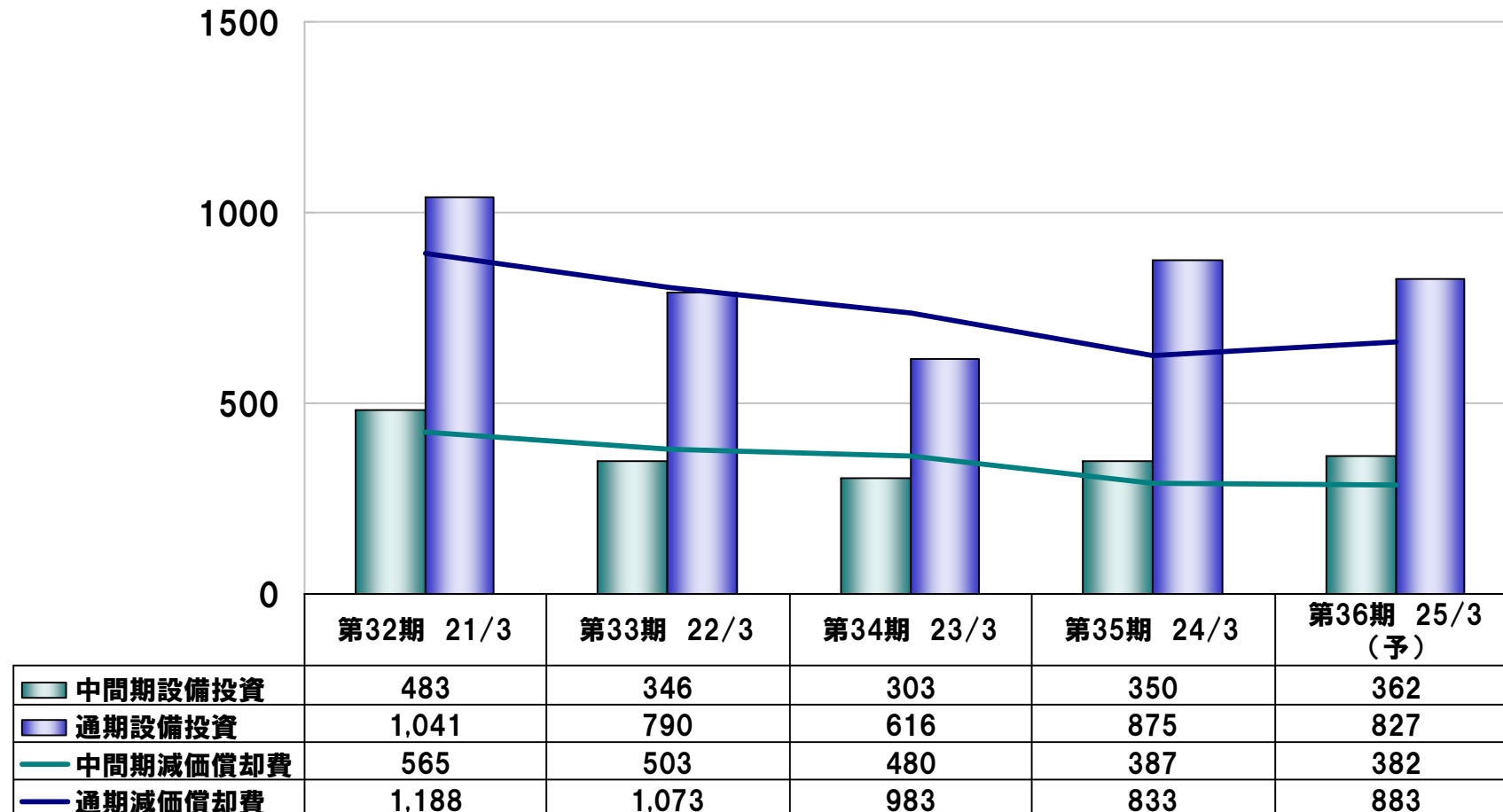
■ 貸借対照表分析 負債・純資産の部

（単位：百万円）



設備投資・減価償却費の推移

(単位:百万円)



上期は業績の回復に伴い、前年比で若干の増加となったが、下期は投資を抑制し、通期では前年実績を下回る見込み

25年3月期通期見通し

(単位：百万円)

連 結 損 益	24/3期 (実績)	25/3期		25/3期 (通期予想)	前期比
		上期実績	下期予想		
売 上 高	30,968	15,162	18,838	34,000	9.8%
売 上 原 価	16,633	8,158	10,142	18,300	10.0%
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	13,363	6,860	7,240	14,100	5.5%
営 業 利 益	971	144	1,456	1,600	64.8%
経 常 利 益	702	-154	1,384	1,230	75.2%
税 引 き 前 利 益	649	-89	1,315	1,226	88.9%
当 期 純 利 益	574	-167	1,107	940	63.8%
1 株 当 た り 利 益 (円)	28.44	-8.26	54.74	46.48	63.4%

(注) 25年3月期予想は、5月11日付の「平成24年3月期決算短信」にて発表した予想であります(以下同じ)。

計測・計量機器事業 見通しー1



(単位：百万円)

セグメント		24/3期 (実績)	25/3期		25/3期 (予想)	前期比
			上期実績	下期予想		
計測・計量 機器事業	売 上	18,006	9,099	11,121	20,220	12.3%
	売 上 原 価	10,119	5,122	6,338	11,460	13.3%
	販 管 費	7,290	3,726	3,934	7,660	5.1%
	営 業 利 益	598	252	848	1,100	83.9%

1. 売上

業績が好調な計測機器・DSP事業を中心に、前期比12.3%の増加を見込む

2. 営業利益

製品原価のコストダウンおよび販売管理費抑制の継続により増益

計測・計量機器事業 見通し-2

(単位：百万円)

製 品 種 別	24/3期 (実績)	25/3期		25/3期 (予想)	前期比
		上期実績	下期予想		
計 測 機 器	3,335	1,669	2,131	3,800	13.9%
計 量 機 器	10,725	5,434	5,806	11,240	4.8%
計測・制御・シミュレーションシステム (DSP)	3,360	1,672	2,808	4,480	33.3%
電 子 ビ ー ム 関 連 ユ ニ ッ ト	586	324	376	700	19.5%
売 上 合 計	18,006	9,099	11,121	20,220	12.3%

計測機器：

・回復が顕著な大型試験機・計測器の拡販

計量機器：

・マイクロ天秤の設置環境コンサルティングを通じた拡販

・新興国向けボリュームゾーン製品の開発および拡販

DSP

：自動車関連を中心に引き続き拡販を推進

・幅広い技術力を活かし、多様なユーザーニーズへの対応

電子ビーム関連ユニット：電子ビーム等を利用した応用市場の開拓

医療・健康機器事業 見通しー1

(単位：百万円)

セグメント		24/3期 (実績)	25/3期		25/3期 (予想)	前期比
			上期実績	下期予想		
医療・健康 機器事業	売上	12,961	6,062	7,718	13,780	6.3%
	売上原価	6,434	3,051	3,789	6,840	6.3%
	販管費	4,889	2,449	2,771	5,220	6.8%
	営業利益	1,638	561	1,159	1,720	5.0%

1. 売上

新製品の投入、新興市場の開拓等により、売上は前期比6.3%増を見込む

2. 営業利益

人民元高および中国工場の人件費の増加等、原価上昇要因はあるが、生産性向上で原価率維持

⇒営業利益は前期比5.0%増加を見込む

医療・健康機器事業 見通しー2

(単位：百万円)

製 品 種 別	24/3期 (実績)	25/3期		25/3期 (予想)	前期比
		上期実績	下期予想		
医 療 機 器	2,389	1,216	1,364	2,580	8.0%
健 康 機 器	10,572	4,847	6,353	11,200	5.9%
売 上 合 計	12,961	6,062	7,718	13,780	6.3%

医療機器：・好調なメディカル計量器のシェア拡大効果を医療機器全体の販売促進に生かす

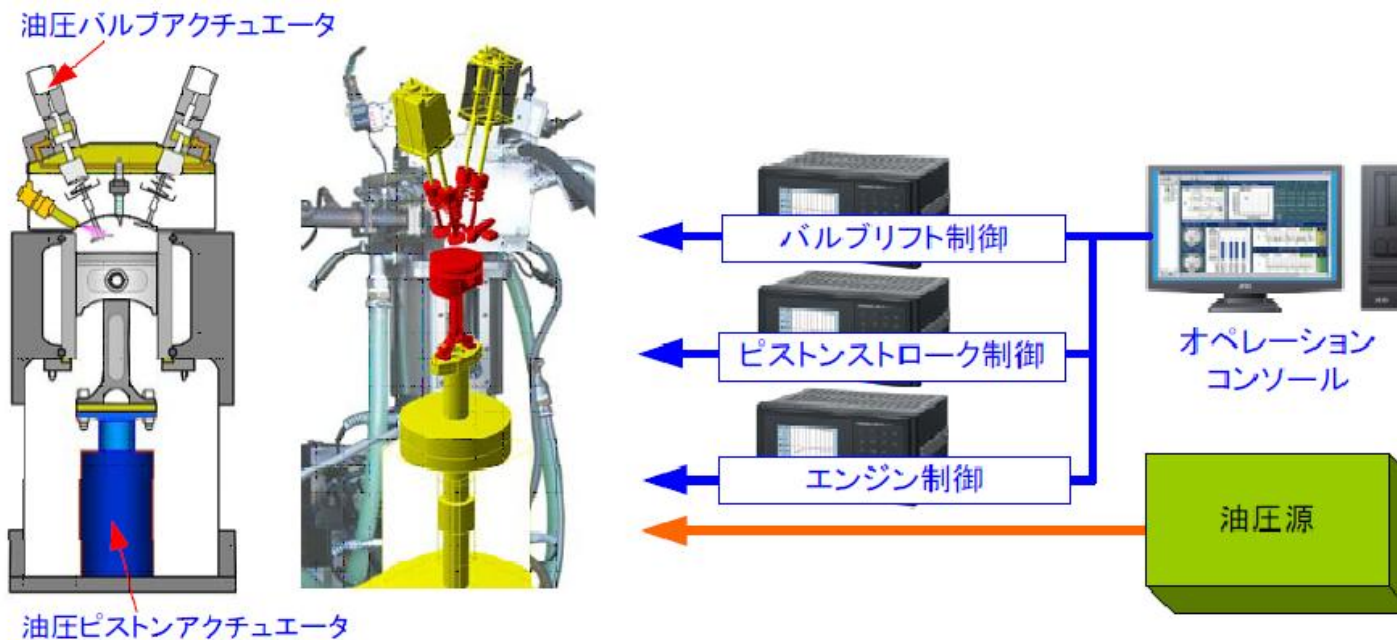
健康機器：・新製品投入による新興国市場の開拓促進

・IT技術活用により、在宅医療および医療ICT（Information Communication Technology：情報通信技術）向け機器分野での売上伸張を図る

トピックス1～フル可変エンジン（DSP）

エンジンの基本開発・評価には、CRFエンジンなど圧縮比可変型の短気筒エンジンが広く採用されていますが、これらは純機械式のため、ピストンストロークやクランクオフセットなどの条件変更には多大な労力が必要でした。A & Dは、高度な油圧制御技術により任意のピストン運動を可能にし、油圧可変動バルブシステムと組み合わせることで「フル可変エンジン」を開発しました。

これによりエンジンの開発工数の大幅削減、高効率化を可能にします。



トピックス2～分析用天びんの設置環境ソリューション



最小表示量が0.01mg～1 μ gの分析用天びんは非常に高感度で、微弱な風・振動・静電気・気圧の変化といった外乱要因の影響を受け、正しく計量できないケースが少なくありません。

そのためA & Dでは環境評価機器や問題解決のための様々な周辺機器を用意し、微細計量が可能な設置環境のソリューションを提供します。

トピックス3～粘度測定市場について

粘度測定は、医薬品、食品、樹脂、塗料、化学業界など様々な業界で行われています。

製品や品質の均一性の測定、作業性の評価、熱的处理や添加物による効果の測定など、先端技術分野での品質維持のため、粘度測定の要求が増えている一方、医療界での嚥下障害者の誤嚥防止のためのとろみ剤（増粘剤）の研究などにも広がりを見せています。

計測・医療分野の両面で事業展開している当社は計測技術を医療分野にも応用し、医療研究の一端を担っています。

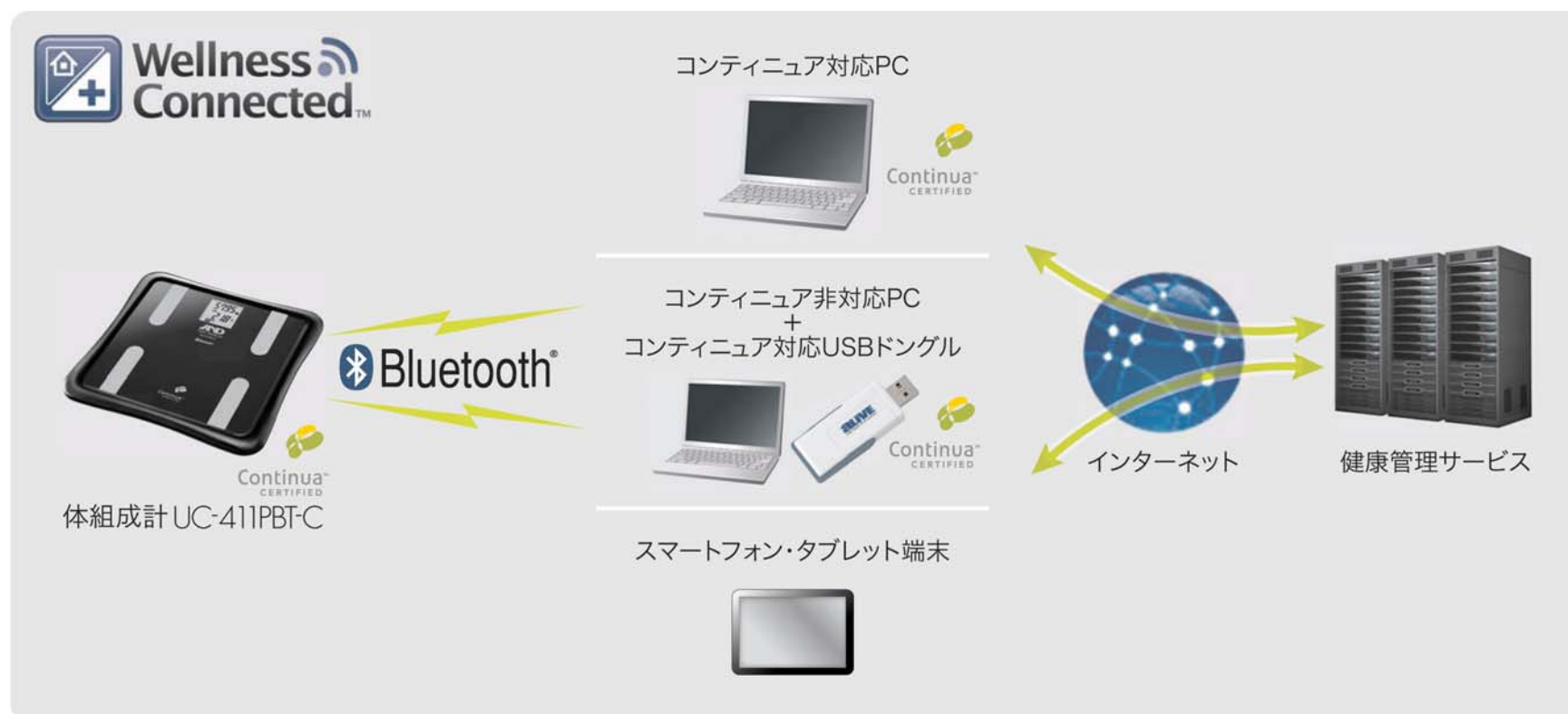


音叉型振動式粘度計
SV-Aシリーズ

トピックス4～ネットワーク対応 体組成計



ネットワーク対応の医科向け自動血圧計・家庭用血圧計に引き続き、Bluetooth内蔵の体組成計を発売しました。UC-411PBT-Cは、Simple, Stylish, Smartなデザインで、測定後、自動的に測定日時や測定値をワイヤレス送信し、インターネット上の健康管理サービスで体重の変化を表やグラフで管理できます。



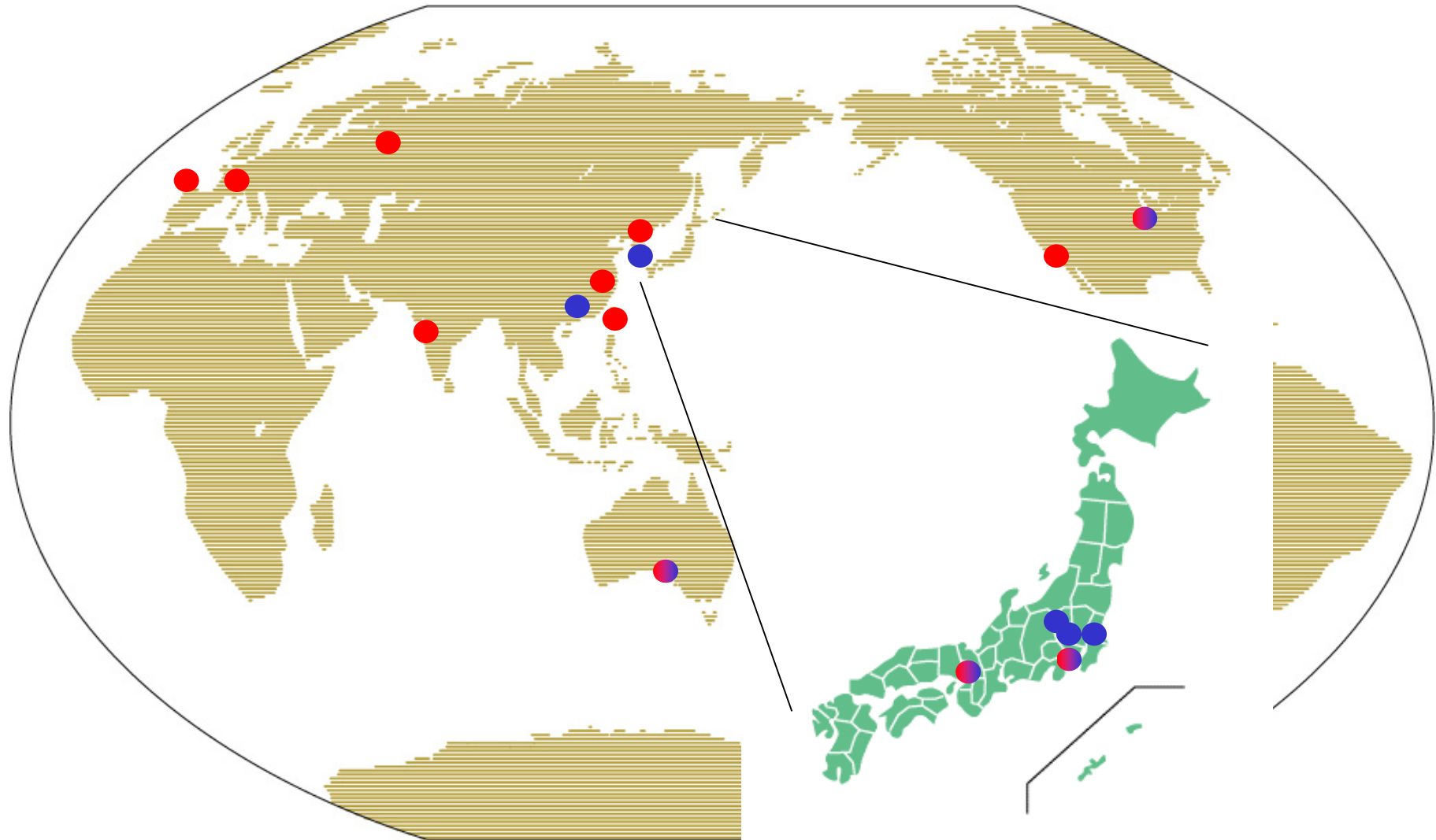


補足資料



- 1 グループの概要
- 2 製品紹介（計測機器）
- 3 製品紹介（計量機器）
- 4 製品紹介（医療・健康機器）
- 5 DSPシステムとは
- 6 DSPシステムの採用事例－1
- 7 DSPシステムの採用事例－2
- 8 電子ビーム関連ユニット
- 9 開発の状況

グループの概要



A & Dは開発および販売を中心に活動
生産主体は国内外関係会社
海外販売は関係会社経由と直販を併用

- 生産・開発関係会社
- 販売関係会社

製品紹介（計測機器）

種 別	概 要	主 要 製 品
波 形 解 析	音・振動等時間的に変化する物理信号を収集および解析	波形解析システム、FFTアナライザ、データロガー
非破壊検査機器	超音波を利用して溶接欠陥や亀裂・腐食等を調査	超音波探傷器、超音波厚さ計
材 料 試 験 機	材料・部品の引っ張り圧縮強度や粘弾性・粘度を測定	引張圧縮試験機、動的粘弾性測定機、粘度計、摩擦摩耗試験機
電 子 計 測 器	プロからホビーや家庭まで、多種多様に取り揃えたデジタル電子計測機器	オシロスコープ、デジタルマルチメータ、タイマー、温湿度計、直流電源、壁内センサーetc.
油 圧 試 験 装 置	油圧サーボ機構を応用した各種試験装置	油圧式疲労試験機、油圧式振動試験機、油圧加振機等
環 境 計 測 機 器	各種排気ガス濃度測定器を始めとする環境計測機器	エンジン排ガス計測機器、燃料電池関連計測機器、各種ガス分析計等



万能材料試験機



動的粘弾性自動測定器

車載型リアルタイム
振動・騒音解析システム

熱中症計



超音波探傷器

製品紹介（計量機器）

種 別	概 要	用 途 等
電子天びん	軽量の物体の質量を高精度に計量する機器で、最大0.001mgまでの計量が可能	医薬品や精密材料等を対象に、研究開発向けから生産・検査まで幅広く使用
電子台秤	中・重量の物体の重量を計量する機器で、防水、防塵、防爆等、様々な環境に対応	厳しい環境下で使用される産業用から家庭で使用されるものまで、幅広い製品群をラインナップ
インジケータ	計量センサから得た信号を質量や力としてデジタル表示、及び制御を行う	粉・粒状物体の自動計量システム、台秤、トラックの積載量を計量するトラックスケール等に使用
ロードセル	金属製の起歪体に加わった荷重による歪みを検出して、電気抵抗値に変換するセンサ	台秤、トラックスケール、フックに吊り下げて計量するクレーンスケール、その他特殊用途に使用



分析用天秤



防水電子台秤



クレーンスケール



ウェイング・インジケータ



デジタル・ロードセル

製品紹介（医療・健康機器）

種 別	概 要	主 要 製 品	特 徴 等
病 院 用 デジタル血圧計	医療機関 や高齢者 介護施設 向血圧計	携帯型自動血圧計	24時間の日常生活での血圧変動を測定
		血 圧 監 視 装 置	SpO2（動脈血酸素飽和度）と血圧を同時監視
		バイタルセンサ	血圧・体温・SpO2・ECG等バイタルサイン測定
		全自動血圧計	腕を入れるだけでワンタッチ操作の自動測定
メ デ ィ カ ル 計 量 器	医療機関 や高齢者 介護施設 向計量器	身長体重計	身長・体重をデジタル測定、肥満度等也表示
		ベッドスケール	治療時の体重変化を測定、監視、記録
		バリアフリー スケール	フラットな計量台、車イス乗車のままや、手すり につかまった状態で安全に計測
健 康 機 器	在宅での 健康管理 用機器	デジタ ル血 圧計	上腕式 手首式
		超音波吸入器	血圧測定に不規則脈波検知、音声等も付加 小型・軽量サイズで外出先でも手軽に血圧測定
		体 重 計	温熱、加湿効果でノド、鼻の不快感を緩和
			50 g 単位、肥満・痩せの基準BMI也表示



DSPシステムとは

DSPシステム

■ DSPシステムの特徴

◇自動車等の複雑な製品の開発・生産現場において、開発期間の短縮・ローコスト化を実現する画期的なシステムです

つないでテストする



エンジンの試作品



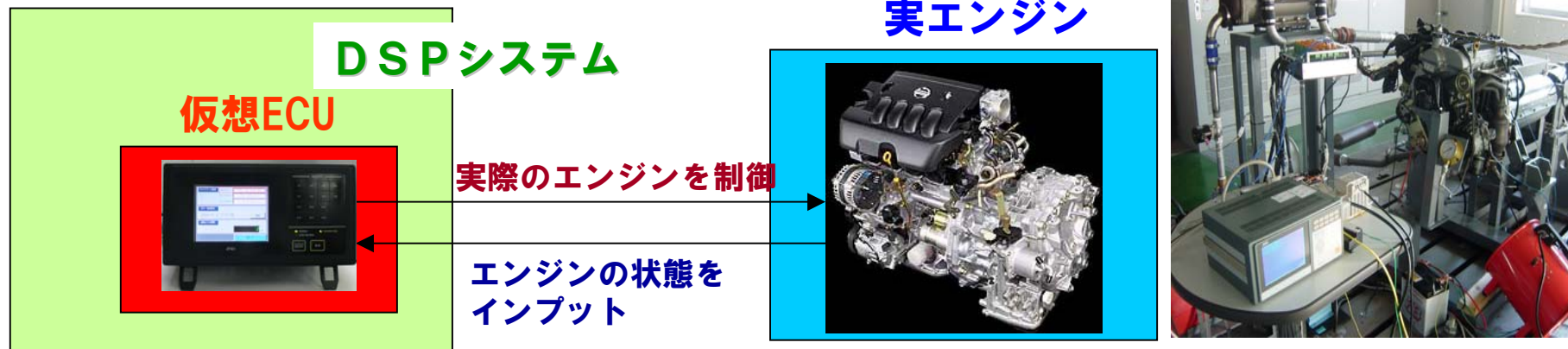
エンジン以外の車両部分をコンピュータにモデル化

エンジン以外の部分が完成していなくても、エンジンを実際の車両に搭載した場合を想定したテストを行う事が可能

DSPシステムの採用事例－1

RPT (Rapid Proto Type)

コンピュータ上にECUの試作モデルを作成して、実際のエンジンを制御してテストを行う



HILS (Hardware In the Loop Simulation)

コンピュータ上に仮想のエンジンや車両のモデルを作成して、試作品のECUのテストを行う



DSPシステムの採用事例－2

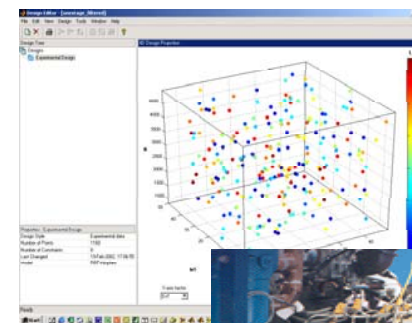
ORION

適合支援自動計測
ソフトウェア

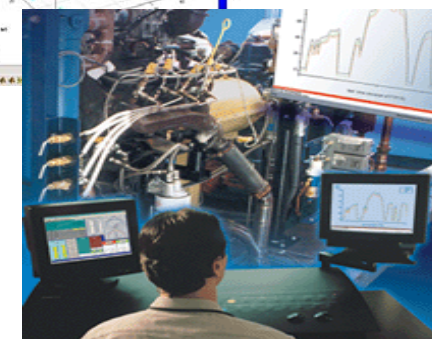
1. 適合とは

ECU開発プロセスで、ECUがエンジンや変速機などの制御を最適に行うためにECUの設定作業（チューニング）を行うこと。

実験計画



評価試験



2. ORIONの特徴

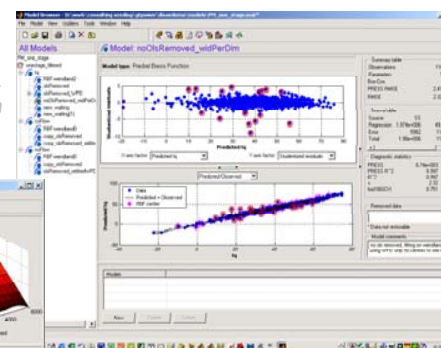
・フレキシビリティ

カスタマイズが容易で、ユーザーが計測アルゴリズムの作成等、各自の仕様に合わせて設定を変更出来る

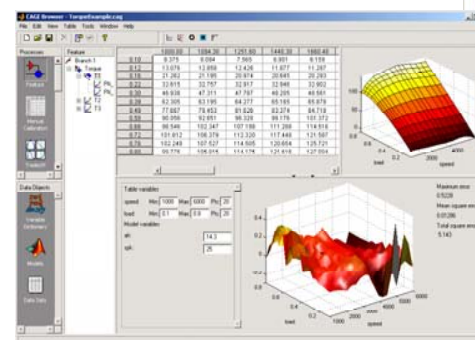
・オープン性

他のシステムとの接続が可能であり、今まで使用していた資産の有効活用が可能

ECUのモデル化



適合



電子ビーム関連ユニット

電子ビーム関連ユニット

微細な半導体の回路を描画するための手段として、主にマスク製造（半導体のネガの様なもの）に電子ビームが利用されておりますが、当社は電子ビーム露光装置に組み込む基幹ユニットを半導体露光装置メーカーに提供しています

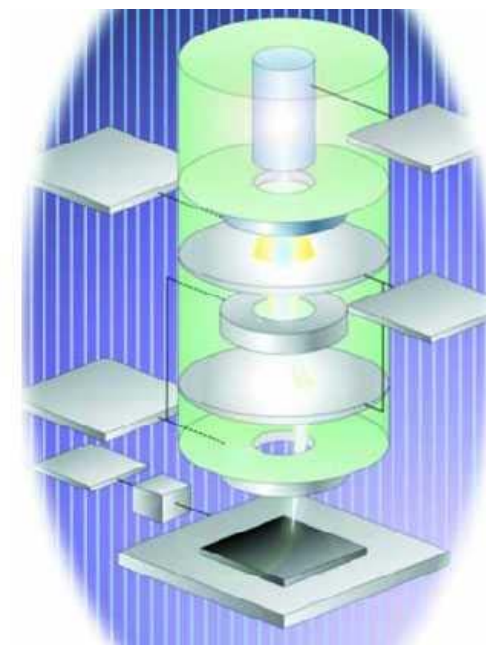
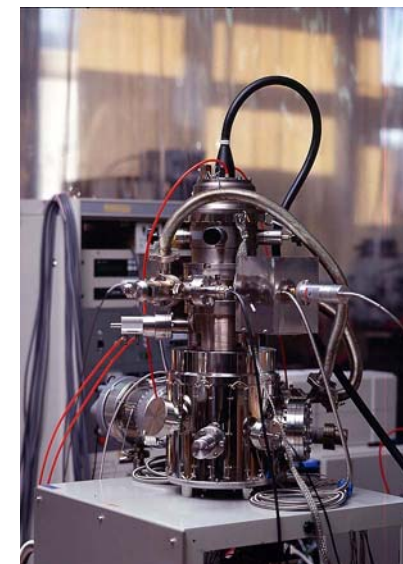
当社が提供する主要なユニット

- ビーム偏向回路

電子ビームの照射方向を制御するもので、精度・速度ともに世界最高水準です

- 電子銃

電子ビームを発生させる設備で、世界でもトップクラスの出力と安定稼働率を備えています



開発の状況

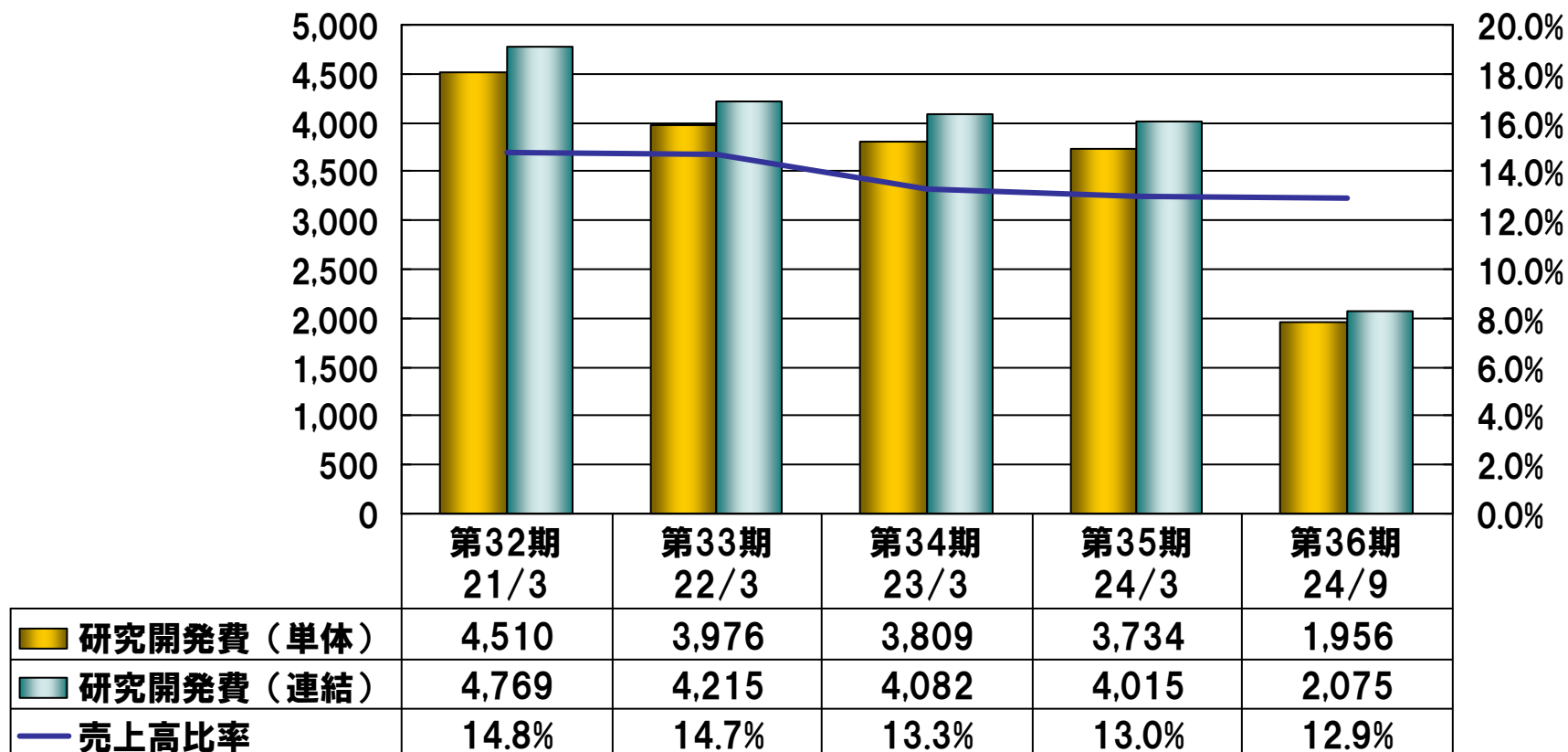


社内資源の多くを開発に投入し、
各事業分野で継続して開発を実施。

(平成24年9月末/ A & D 単体)

既存事業 201名 (52.3%) 開発人員比率
新規事業 183名 (47.7%) (単体) は54.0%
合 計 384名

研究開発費
(単位：百万円)



※売上高比率は連結売上で算出

